

■韓国：大規模停電に備えてソウル市内に燃料電池発電設備を配備

ソウル市は2012年5月15日、大規模停電が発生しても都市機能が失われないように2014年末までに市内に29カ所、102カ所の建物に燃料電池を設置すると発表した。同市は、燃料電池を市内に分散して設置することによって、非常時に地下鉄や上下水道施設に電力を供給するほか、大型ビルの燃料電池では、非常時に約40万世帯に電力を供給するとしている。現在、ソウル市内にある燃料電池の設備容量は計5,200kWで、2013年末までに13万7,200kW、2014年末までに23万kWに引き上げられることになっている。